



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.72

2019.春号



みなみがた荘入所者の皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

(社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

(事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

(組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20～21
- トピックス(花粉症について)…………… p21～22

施設全体行事

3/22 金



カラオケ大会



七つの子

(複合施設を童謡の題名に例えて表現しました。) この「七つの子」では、各団体のご協力のもとで行われた行事を中心に、ご紹介していきます。



4/17 水



岡山混声合唱団



初釜

1月24日に、毎年恒例の初釜を行いました。今回は2名の方が三味線と電子ピアノの演奏に来て下さり、お抹茶と和菓子にあわせて和の音色を楽しみました。三味線は演奏途中でも、



曲の盛り上がりにあわせて観客も拍手をするそうで、演奏者の方から拍手のタイミングを教えてくださいました。入居者の皆様も、集中して演奏を聴き、息のピッタリ合った拍手で演奏を盛り上げました。また、懐かしい唱歌を歌ったり、盆踊りの曲に合わせて踊ったりと、とても良い運動もできました。

5月から元号も令和に変わりますが、新しい時代も元気で楽しいものとなりますように♡ 看護職員 大倉 圭子



お茶会

3月12日(火) ケアハウスのお雛茶会を開きました。今回は【若葉会】から3名の方が来里下さり、ステキな舞と歌を披露して下さいました。皆さん、観覧しながらお抹茶と和菓子をととても美味しそうに召し上がっておられました。



お雛様を彩る桃の花が春爛漫といった風情に活けられ、花の香りも手伝って、良いお茶会となりました。

介護職員 濱治 博美

仮装カラオケ大会

3月22日 仮装カラオケ大会が開催されました。出演するメンバーが揃わないなか、二人いれば練習、出演しない職員が協力してくれて、時には本番さながらのように入居者の方々に見て頂いたり、楽しい時間が持てて良かったと思っています。とても緊張しましたが、終了後はほっと一息。協力して下さいました皆様ありがとうございました。



介護職員 熊代 薫

春の遠足

4月4日と9日の2班に分かれて、きらめきプラザに遠足に行きました。お天気にも恵まれ、桜の花も満開で「きれいだなあ。」「いい香り。」と、喜んでおられました。カフェのテラス席でお茶やコーヒーも頂き、皆様の表情も輝き、会話も弾み、和やかなひとときを過ごしました。



女性は、パンやお菓子の買い物に目移りしながら楽しんでおられました。

秋の遠足も楽しみにしててくださいね。



看護職員 浪本 文子

なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《節分会》

今年も、なごみ苑恒例行事である節分会が2月5日に行われました。今年なんと年女の方が5人もいらっしゃるということで、例年になくなごみ苑に福が舞い込みそうな予感♪

節分と言えば、子供の頃実家の玄関先に柀の枝に鯛の頭を刺したものを立てていたのを思い出します。子供時代には豆も年の数だけ食べるのが恒例でしたが歳をとった今では、豆を食べるのは率先して省くようになっています(笑)

なごみ苑では、豆や恵方巻きを食べる代わりに、かわいい鬼の袋に入ったロールケーキを皆さんで頂きました☆多「美味しいねー」「かわいい鬼じゃな〜」の声が聞かれました。

五月一日から年号が平成から令和にかわりました。邪気を払い、気分も新たに、なごみ苑の入居者の皆さんと健康に新しい一年を過ごしていけたらと思います!!



《春の遠足》

4月1日2日と二日間に分かれてお花見を兼ねたドライブに旭川沿い方面に行ってきました。

朝から快晴で良い花見ができそうだと期待に胸を膨らませておられる入居者の方が多く見受けられました。

午後から多少曇ったりしたものの無事に雨も降らずお花見が出来ました。

綺麗に咲いた桜をご覧になった皆さんは一緒に嬉しそうにしておられ特に1日目に参加された入居者様の中には

『二日目も行きたいなあ(^o^)]』と言って下さる方もおられたほどです。

ドライブの後はカルチャーホテルでティータイムを満喫。

美味しいケーキとコーヒーを頂きました。

普段あまり外出されない方もそうでない方も楽しく会話が弾みました。

来年も皆さん元気にならずに素晴らしいお花見をしたいと思います!



介護職員 渡邊由美・上坂弘美

<仮装カラオケ大会>

2020年に開催される東京オリンピックをテーマに今回は三波春夫さんの「世界の国からこんにちは」を披露しました。5人のメンバーが、日本を含む5か国の仮装をして、歌詞の「1970年の～」の部分



「2020年の～」に替えて歌いました。そして、歌の最後に5色のフラフープでオリンピックのシンボルマークを作りました。

練習の時には、オリンピックのマークを上手に作る事ができませんでしたが、本番では無事に作り上げる事ができました。

本番まで利用者様に楽しんでもらえるかと不安でしたが、終わった後、「衣装が良く似合っていたよ」「懐かしい歌だったわ」と言って下さり、出演した職員に握手を求められる場面も見られました。今回貴重な体験をさせて頂きましたが、次回も利用者様に楽しんで頂けるよう頑張りたいと思います。

介護職員 田中 義大



<四季折々の作品作り>

みなみがた荘ではクラブ活動の一環として、一年を通して制作活動を行っています。外出の機会が少ない利用者様が季節の雰囲気を感じられるように、四季折々の花や行事を題材に選び、楽しんで参加して頂けるよう工夫をしています。



春といえば「藤の花」ですが、色づけした和紙を一つ一つ利用者様と付けて花びらを作りました。日に日に増えていく房に「もうこんなにできたね。満開が楽しみだわ」と完成が待ち遠しい様子でした。藤の花の完成後、皆さんと豪華な藤棚を満喫しました。夏は、後楽園の観蓮節をイメージした「蓮池」。本物と思われて、恐る恐る池に近寄る微笑ましい光景も見られました。秋には、「菊花展」で懸崖作りに挑戦しました。小菊を一個ずつ

並べながら「わあ。すごい」「こんな立派な菊ができるんじゃないかな」など利用者様に喜んで頂きました。この他にも、「猪の絵馬」「桃の花」などを作りました。最近は、「菖蒲池」が満開です。



新しい作品の準備をしていると、ご家族様から「次は何ができるの?」「次の作品も楽しみだわ」とたくさんお声をかけて頂いたり、「参考にしてね」と写真を提供して下さいたりといつも励みになります。これからも、利用者様に喜んで頂けるよう楽しい作品を作っていきたいと思います。

介護職員 山田 多恵

平成最後の仮装カラオケ大会

山笑い桜の花がほころび始めるころ、平成最後のカラオケ大会が開催され、なでしこ苑は久しぶりの参加となりました。どのような曲にするか悩み悩んだ末、ほとんどの人が耳にしたことがあるであろう名曲！そう！！「子連れ狼：橋幸夫」に決定しました。子連れ狼といえばもちろん、大五郎とちゃん（父）なのですがなんと・・・なでしこ苑にはうってつけの職員がいたのです。声、背丈ともに申し分ありません。（笑）

そして、ただ歌うだけでは面白くないということで、演劇風にしようと話がまとまり日々の練習が始まりました。道具や

衣装はバッチリ！が、しかし！打ち合わせや、参加者全員での練習がほとんどできず本番を迎えてしまうのです。

ステージ上で不気味なかつらをかぶった鼻垂れ大五郎が身の丈180cm越えのちゃん（父）を待っているという設定で曲が始まりました。私自身は、ちゃん（父）と剣を交える刺客の役で客席後方へ控えていました。この場所からちゃん（父）が会場の真ん中を通り大五郎のもとへ駆け寄る姿を見届けました。謎のコスプレをした女性ボーカルの職員2人と、ちゃん（父）の美声により会場は大盛り上がりで拍手喝采です。大五郎とちゃん（父）が戯れるシーンでは笑いもおき大成功の予感です。そして、ついに私が登場するときがやって参

りました。張り切って会場の中を通り登場したのですが、、ステージに上がると、ちゃん「え、登場早すぎない!？」私「早すぎましたね。ミスりました。（笑）」と言いつつ何事もなかったようにひたすらステージを歩き回っていました。実は曲の3番で登場する予定でしたが2番で登場してしまうというミス!!練習不足と慣れていない緊張がここで出てしまいました。どうにかアドリブで切り抜けいよいよ一番の見せ所剣戟のときがやってきました。ちゃん（父）と剣を交え最後に大五郎にとどめを刺され早々に役目を終えた私、会場は再び大きな歓声と笑いに包まれこの日一番の盛り上がりを見せたのではないかと思います。

そして最後はみんなで手を繋ぎ一緒に合唱しハッピーエンドとなりました。後からご利用者様に、「浴衣がよかったわー!」「子連れ狼を昔見とったから懐かしかったわー!」「また見たいわー!」などの嬉しい感想が聞かれました。

私自身はカラオケ大会初参加でした。とても緊張していましたが終わった後は何とも言えない達成感を味わうことができました。また機会があったら参加したいと思いました。

介護職員 有平 優也



〈2F〉《仮装カラオケ大会》

うらかな春日和が続き過ぎしやすい季節となりました。時代は「平成」から「令和」へ新しい時代の幕開けですね。

どんな時代になるのかワクワクします(^^)

3月22日に毎年恒例の仮装カラオケ大会が行われました。たちばな苑は松任谷由実さんの「卒業写真」という曲を職員が奏でるギターとハーモニカに合わせて歌いました。白と黒の衣装で揃え、いざステージに！利用者様を目の前にするとドキドキ…緊張で声が震えました。皆様がうちわや旗などの応援グッズを持って、手を振ったり拍手をしてくださり嬉しかったです！「歌ってる姿がちゃんと見れたよ」「良かったよ～」と利用者様より言葉をかけていただきました。

新たな令和の時代も皆様楽しく過ごしていただけるように努めていきたいと思ひます。

介護職員 深見 愛佳



〈3F〉《節分 豆まき》

2月2日。今年もたちばな苑に鬼がやってまいりました。そうです！節分の豆まきの日です。今年の鬼はどんな鬼かな？利用者の皆様、興味津々。フロアには太鼓の音が鳴り響き、豆を手に今か今かと待ち構えています。「鬼が来たぞー！」赤鬼と青鬼が金棒片手に登場！さあ勢いよく豆が…。あれ？飛んでこないぞ？みなさんあっけにとられたのか、投げのりを忘れたのか固まっています。「鬼だぞーっ！鬼だぞーっ！」鬼の声に段々と豆が投げられ始め、少しずつ飛び交い始めました。「鬼は一外！福は一内！」大きな声も飛び交い始めます。こうなったらもう止まりません。鬼達は汗だくになりながらあっちへ行き、こっちへ行きといつの間にもやら床は豆だらけ…。皆様の気迫に負けず鬼はとうとう退散！たくさん笑顔も見られ、素晴らしい福を呼び込むことができました。

時代は平成から令和へ。「令和」という時代が、皆様にとって福の多い時代となりますように…。

介護職員 才本 雅之



〈4F〉《節分、豆まき》

2月3日と言えば節分。節分と言えば豆まきですね。今年も4階に青鬼と赤鬼がやってきました。利用者の皆様は鬼の登場を今か今かと待ちわび、豆をまく気満々（笑）

いざ鬼が登場すると、鬼めがけ「鬼は外！福は内！」と声を出しながら楽しくまいってくださいました。職員が鬼に成りすましていたため、気を使って優しく豆を巻いてくれる利用者の方もいれば、ここぞとばかりに本気で豆を叩きつける利用者の方もいらっしゃいました。



散々豆を巻かれた鬼はしぶしぶと退散。「逃げた！逃げた！」と喜ばれました。

利用者の皆様も大変満足され、とてもいい笑顔を見せて楽しい行事となりました。

今年一年皆様に福が訪れますように… (^^)

介護職員 坪井 弘二三

デイケアセンター

通所リハビリ

・ 名人登場 !!

「あら、えっさっさ〜！」の掛け声と共に、芸達者なデイケアの女性職員によるドジョウすくいのはじめです。安来節のリズムに合わせてコミカルな動きを繰り広げます。利用者の皆さんもそれを見て大笑い。

「面白かったわ〜。」

「こんなに笑ったのは久しぶり。」

といった声が聞かれ、楽しんでいただけたようです。

これからも皆さんに楽しんでいただけるよう、どんどん身体を張って？頑張っていきたいと思います（笑）



・ 福は内 !! 鬼は外 !!

節分といえば2月3日ですが、デイケアでは2月1日に鬼が2人？現れました。みなさん鬼を追い払おうと一生懸命に豆を投げてくれたおかげで、無事退治することができました。

鬼退治の後は皆さんで創作活動。男性も女性も一生懸命取り組みました。

今年の作品は鬼の飾りでしたが
「よ〜出来とるなあ。」
「くたぶれるなあ。」
「あんたに似とるが（笑）」

などといった声が聞こえてきます。最後は作品と一緒に記念撮影をしました。



・ 平成最後の仮装カラオケ大会

毎年少数精鋭？で参加しているデイケアですが、今年はザ・ドリフターズの曲を歌うということで、5人での参加となりました。なかなか練習時間が取れず、どうなることか不安な気持ちでいっぱいでしたが、当日は今までの最高のパフォーマンスを披露することができました。おかげでデイケアの利用者の皆さんからも「良かった。」「楽しかった。」とお褒めの言葉をたくさんいただくことが出来ました。「平成」は4月で終わってしまいましたが、これからの「令和」もデイケアのステージにどうぞご期待ください！



支援相談員 入江 浩嗣

リハビリスタッフからのワンポイントアドバイス

T字杖について

加齢や疾病などによって杖を使われている方がいらっしゃいますが、正しい使い方が出来ていますか？時々T字の持ち手を反対に持ち不安定に歩かれている方を見ます。正しくは、T字の短い方を進行方向に向けて、人差し指と中指の間で挟むようにして握ります。「転ばぬ先の杖」は正しい使い方で行うようにして下さいね。

理学療法士 原 真由美

クラフト教室

デイサービスへほぼ毎月来てくださっている甘利さんが毎回いろいろな作品を提案してくれて利用者の皆様を楽しませてくださっています。

「ホコリトリ」（写真参照）・「石鹸のデコパージュ」などいろいろなものを作りました。

クラフトの後はこれまた恒例になっている、かわいい人形を使った手遊びを披露して下さいます。いつもデイサービスの皆様を楽しませてくれてありがとうございます。

デイサービスとしてはなるべくたくさんの利用者様に経験してもらうため毎回曜日を変えて計画していきます。



カラオケ大会



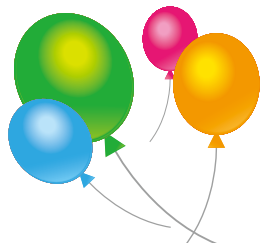
♪♪V・A・C・A・T・I・O・N～楽しいな～♪♪
デイサービスのスパーク3人娘が今年のカラオケ大会に出場しました。（必然的に参加することになっているのですが・・・）今年の衣装はデイサービスの皆様が私たち3人の為に一生懸命に作成してくれました。今年は例年ではなくデイサービスの皆様と参加した気分です。来年はどんなことをしようかなあ～♪♪♪



3月誕生日会

今年101歳になられた利用者様を、管理者の森本部長・デイサービスの職員・その日の利用者様達と盛大にお祝いをしました。ご家族様にも手作り感満載の会場をみていただき、記念撮影もしました。とても喜んで頂き私たちもとても感動しました。

これからもますますお元気でデイサービスのお姉さんとして来てくださいね。



生活相談員 末次 博文

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 憩いの丘

とんど祭り

1/
14月

お飾りや習字を持ち寄り「とんど祭り」を行いました。
お餅をアルミホイルに包み、みかんも焼きました。

利用者の方は窓越しに職員が焼いているのを見ながら
「まだ焼けないのかな」「煙たかろーなー」と話しながら待ち、
焼けたお餅やみかんを美味しく食べられていました。



節分祭



2/1金

山田宮司様をお迎えし祭典を行いました。

毎年、その年の年男・年女の利用者の方が肩衣を着用。施設長・事務長は肩衣と袴を着用して頂き、参列しお祓いを受けました。

祭典後、鬼に扮装した職員にめがけて利用者の方は豆をまき、福を呼び寄せていました。



お好みコーナー

憩いの丘には月1回「お好みコーナー」という行事があります。

この行事は昼食時間に開催されています。

今回は桜の花が咲きほこる春日和の日、暖かな日差しの中、駐車場において行いました。

桜を眺めながら美味しくお花見弁当を食べられていました。

(玉子焼きは介護職員が焼くのが恒例になっています。)



4/9火



介護職員 久米井 須磨子

憩いの丘 デイサービスセンター

～令和・花見・甲冑～

4月1日は皆さん朝からソワソワ。「今日はテレビを見んといけんよ」「世紀の瞬間を逃したらいけん」とテレビへと目が釘付けとなりました。「新しい元号は『令和』であります」の発表に大正・昭和・平成・令和と時代を生きぬいていくご利用者は「令和。ええなあー」など口々に感想を言い合いました。令和（0輪）にちなんで両手で丸を表現し写真撮影しました。感動を共に記念すべき一日となりました。



そして、平成最後となる桜の花見の季節がやってきました。デイサービス玄関前の桜は早咲きで「5～6輪咲いたから開花宣言じゃな」と手を叩いて皆さん喜んでいました。桜が満開になると、待ちに待ったお花見弁当を桜の花の下でと開催しました。「きれいじゃな」「美味しいな」と会話も次々に飛び交いました。即興の忠義桜の合唱も大きな声が出て大盛況でした。



新年号を記念し、甲冑パネルをご利用者と共にちぎり絵で製作しました。令和の喜びと共に桜とパシャリ。「ええのが出来たな」と手には刀も握り、皆さん照れながらもそれぞれにいい記念写真が撮れました。

介護職員 間野 万貴

デイルームは春爛漫

ご利用者が丹精込めて育てた季節の花々がデイルームに届きました。珍しい色のスイートピーをはじめ、シャクナゲ・シャクヤクなど満開に咲き誇り、お花見気分です。「珍しいなあ。こんなのは見たことないわ。」と皆喜んでおられます。木にとまった鳥は、竹の皮と発泡スチロールで出来た鶯です。くりっとした目が何とも愛らしく、今にも「ホーホケキョ！」と鳴きそうです。「手先が器用なんじゃなあ。」「竹の皮かな！へえー。」と感心され、作者本人は照れ臭い様子でした。何でもないことのようにも、季節を感じながら生活することは人にとって大切なことです。ご利用者と職員が同じ空間で時を過ごし、同じ感動をすることで一体感も高まります。感謝の気持ちでいっぱいになります。



介護職員 川崎 祥子

介護老人保健施設

高松中学校吹奏楽部コンサート

平成31年2月14日（土）午後から、済生会吉備病院のリハビリ室で行われた高松中学校吹奏楽部の皆さんのコンサートに参加しました。

吹奏楽の迫力ある生演奏を聴いて、手拍子をしたり一緒に歌を口ずさまれるご利用者様のいきいきとした表情が印象的でした。演奏の合間には司会者のトークや○×クイズもあり、若い皆さんの元気をたくさんいただいて、楽しいひと時を過ごすことができました。

介護職員 村上 理加



備中荘・済生会吉備病院合同消火訓練を実施



平成31年4月24日（水）に備中荘と済生会吉備病院合同で消火訓練を実施しました。総勢13名が参加し、練習用の消火器や散水栓を使用し、コーンを火元に見立て、火災発生時の対応方法や消火方法を学びました。防災盤の操作説明も受け、警報時の対応方法等も学びました。

定期的な訓練を実施し、職員の防災・防火意識を高め、より安全で安心される施設にしていきたいと思えます。

事務職員 市川 浩司

岡山県立岡山西支援学校生 現場実習受け入れ

平成31年1月～2月にかけて岡山県立岡山西支援学校生の実習受け入れを行いました。昨年も実習に来られており、実習生は少し緊張していましたが、利用者様から「また来てくれたの？頑張ってるな」と声を掛けられ、実習生の緊張していた顔が一瞬でほぐれ「また来ました。よろしくお願ひします」と笑顔で答えられていました。今回は前回やって頂いた内容をより濃くしていきましましたが、とても丁寧にまた真剣に取り組まれていました。また食事の際には利用者様と「美味しかったですか？」「美味しかったよ」とコミュニケーションもはかれており、微笑ましい光景を見る事も出来ました。

改めて実習生の真剣に取り組む姿を目にし、日々学ぶ事を忘れず何事にも取り組んでいきたいと思えました。

介護職員 中嶋 美由紀

不在者投票を実施



平成31年4月3日（水）に岡山県議会議員選挙ならびに岡山市議会議員選挙の不在者投票を実施しました。

一般の投票所ではなく、施設内で行われる例外的な投票であるため、利用者様が自由な意思に基づいて投票できるよう、十分な配慮のもと行わせて頂きました。

事務職員 市川 浩司

介護老人保健施設

健康教室を開催

昨年11月、今年2月と当施設にて開催し、4月より毎月1回開催することになりました。

「介護予防や健康増進に努めること」、「介護老人保健施設の役割や介護保険制度を知っていただく機会を作ること」を目的に近隣住民の参加を呼び掛けました。参加者は毎回約10名程度で、女性で運動意欲の高い方が多く、笑顔と活気にあふれています。

内容は主に体操として「チェアヨガ」を中心に行っています。担当はチェアヨガインストラクター資格のある理学療法士の村藤が担当しています。ヨガをしたことがないという参加者が多く、毎回、熱心に取り組まれています。

また、次回参加への動機付けに、宿題として、自宅のできる運動メニューを実践してきてもらうようにしています。

今後は体力測定も行い、運動意欲の維持と継続的な参加につながるよう努めていきます。

理学療法士 村藤 卓秀



春の町内事前溝掃除

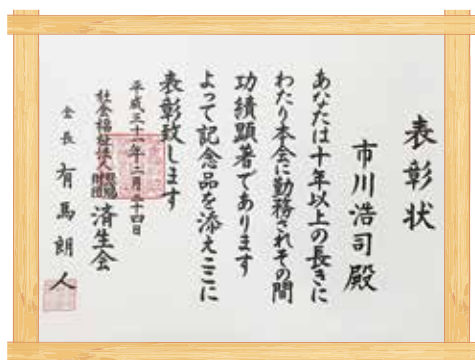
平成31年4月13日（土）に春恒例の溝掃除・清掃の日に、職員有志14名で地域貢献の一環として備中荘周辺の環境整備を行いました。天候にも恵まれ、日向での作業はじんわり汗ばむほどでした。日頃の感謝を込めて黙々と草を抜いて抜いて抜いて……。あっという間に何袋も一杯になりました。きれいになった溝や道路を見ると、スッキリとした気分になりました。

今後も地域の皆様のお役に立つことができるよう取り組んでいきたいと思えます。



介護支援専門員 土居 晶子

永年勤続表彰（10年）



平成31年2月24日（日）富山県で開催された第71回済生会学会平成30年度済生会総会に出席させて頂きました。全国から2,400名もの済生会職員が集まり、講演や演題発表、表彰等が行われ、とても盛大に開催されました。前日には支部岡山県済生会の計らいで恒例の前夜祭も開かれ、楽しい一時を過ごさせて頂きました。

個人としては、30歳を機に済生会へ転職し、あっという間の10年、もがきにもがいた10年だったように感じます。良い時もそうでないときも、いつも助言や励ましをくださった上司、同僚や、見守ってくれた家族に心から感謝しております。

これからも与えられた職責を全うできるよう、置かれた場所で咲けるよう、努力していこうと思えます。この度は節目の機会を与えていただき、ありがとうございました。

事務職員 市川 浩司

＊ひな祭り＊



♪あかりをつけましょ、ぼんぼりに〜♪と歌いながら、地域交流ホールへ親王飾り、1階の談話コーナーに七段飾りのお雛様を飾りました。

並び順がわからないわー…と悩み、これはもうデイサービス利用者様、特養入所者様の出番！と助けを求め、「五人囃子より三人官女のほうが上の段だよー」「左近の桜、右近の橘って言うんよ」など色々教えてもらいながら、なんとか飾ることができました。飾ってみるとほんとに美しい。惚れ惚れします。

3月8日にはお雛様の前で握り寿司バイキングを開催しました。お好きなネタを好きなだけ食べられます。シャリは小さめでネタは大きく、お得感満載で10貫食べられる方も珍しくなく、“花より団子”お雛様を忘れてお寿司を堪能されていました。

御津地域では旧暦の4月3日でお祝いするので2月中旬から4月3日まで長い間飾ることができ、デイサービス利用の度に「まだあった。よかった。」「次来た時もまだある？」と楽しみにしておられました。「片付けはお嫁に行けなくなるから、早いこと片付けないと！」との声を聞きつつ…まあ追々に。だってまだ見ていたいんだもん。と甘えてしまいました。



★毎年恒例!盛大に餅つき大会!★

よいしょー!の掛け声で、順番にお餅をついて、白とヨモギのあんこ餅を作りました。「やっぱりするなら立ってしないと!」と、元気を出して車椅子から立ち上がり、もういっちょ〜と掛け声に合わせてつかれる場面もありました。「つけないけど、揉むのはできるよ。」とあんこを包み丸める方もおられました。みんなの元気が詰まったお餅は、すっごく美味しかったです。また来年も盛大に行いましょう!



看護職員 江田 知里

春の遠足

4月4日（木）に毎年恒例のお花見に行きました。当日は暖かく良いお天気に恵まれ、絶好のお花見日和でした。まずは、むく乃実にて昼食です。ご家族の方とも合流し、それぞれ好きな物を頼み楽しく食事ができました。お腹がいっぱいになったところでお花見に出発！空港方面へと向かいました。

車中からのお花見でしたが「きれいじゃなあ」季節を感じて頂けたようです。桃の花も見ようと少し足を延ばしましたが、こちらはまだ早かった様で残念ながら見る事はできませんでした。「美味しい物を食べて、きれいな桜も見れて良かった」と笑顔で話してくれ、良い思い出ができたようです。

介護職員 川尻 淳子



お花見

4月3日 金川の桜並木へお花見に行きました。今年のはてる坊主の出番はなく、お天気に恵まれ利用者と職員の総勢27名で宇垣荘を出発。まずは腹ごしらえで日本料理「魚浅」でお昼ご飯です。お刺身、天ぷらなど順に運ばれて来る料理に「お腹すいた」「美味しいわあ」と談笑しながらお腹一杯食べられました。昼食のあとは、いよいよ桜並木の散策です。毎日の歩行訓練の成果を発揮し、駐車場から桜並木までしっかりと歩かれました。満開の木の下で記念写真をパチリ。「きれいじゃなあ〜」と見入ったり、そお〜と手を伸ばし花びらに触れてみたりと思い思いに春を感じる事が出来ました。

介護職員 後藤 幸子



外出支援

桜が咲き始めた頃、入所者の皆さんから『遠足はどこに連れて行ってくれるの?』『あっこに行きたいわあ〜』等声がありました。そこでアンケートを実施し、買い物・外食・ドライブから選んでもらい、候補の中からさらに行き先を選んでいただきました。(買い物:エブリィ、ビッグ、ハピーズ等。 外食:夜寿司、酒蔵、すぎ茶屋等。 ドライブ:岡山方面、倉敷方面、津山方面等)

乗り遅れた方や忘れ物がないか確認後、それでは安全に気をつけて出発〜『久しぶりじゃわ〜』『天気さええのは日頃の行いがええ証拠よな〜』『どんなのがあるかな〜』『何でも食べていいんよな?』『予算は?お持ち帰りもしていい?』『運転手さんが眠たくならんように帰るまで頑張っちゃべるわ』等、行きも帰りも車内は景色を見つつ話が弾む弾む♪



夜寿司でお食事

現地に着いてからも『何がええかなあ〜』『あんたそれにするん?私も同じのにしようかな』『こんなにあったら日移りするわ』『これは昔からあるな』『安くて良かったわあ〜』『写真ばっかり恥ずかしいわ』等、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。



ハピッシュで買い物

車から降りた際には、「運転ご苦労様」「ありがとう」「また連れて行ってね」と声を掛けて下さいました。中には、これからどっか連れて行ってくれるって言うんだけど、この格好でいい?と聞いて来られる方もおられました。日程によってはあいにくの雨模様の日もありましたが、参加された皆さんに怪我等なく無事終える事が出来ました。職員間でも、「あそこ良かったよ」「ええ?そんなんあるん?」「行きたかったわあ〜」等楽しい事・美味しい話が大好きな玉松園でした☆ 介護職員 有坂 幸代

節分メニュー

平成最後の節分メニューは、定番の巻き寿司と塩鯛です。大人気のお寿司は、普段、お粥を召し上がられている方も、食欲がない方も、楽しみにされています。いなり寿司も好評で「コンコン寿司、もひとつないの?」とお寿司のおかわりを希望される方もおられてお出しました。

また、塩鯛は、開いた鯛をご用意しました。鯛を焼いた後は、鬼も嫌がる納得の臭いが残りますが、おいしいので外せません。節分の豆撒きにちなみ、大豆煮もお出しました。

令和幕開けの日は、お赤飯でお祝いをしました。今後も皆さまが元気に楽しくお過ごしいただけるようなメニューを考えていきたいと思ひます。 管理栄養士 友次 朋恵



節分 2月4日



今年も職員が福の神や鬼に扮して、入所者の皆さんと楽しく元気に豆まきをしました。

今年1年、皆さんにとって素晴らしい良い年になりますように!



総務課 吉澤 和幸



防犯・安全対策研修会

平成31年1月29日（火）14：00～15：00、1階交流ホールにて岡山北警察署 生活安全課の浅野泰弘警部を講師に招いて、「防犯・安全対策研修会」をしました。

約3年前に神奈川県障害者支援施設において、多数の入所者が殺傷されるという痛ましい事件が発生しました。同様の悲劇を繰り返さないためにも、施設の安全確保に努め入所者の皆さんが安心して生活できるよう不審者への対策等を研修しました。

不審者に対し、まず一人が刺激しないように丁寧な対応で施設外への誘導を図り、もう一人が110番通報するなど、役割分担しておくことが、いざという時に慌てない為にも重要であり「もし不審者が刃物を持っていれば間合いを取って対応しないと危ない」などと注意点も教えていただきました。さすまたの使用法なども職員を交えて実演していただきました。最後の質疑応答の時間では、職員の日頃の不安な点の質問もでき大変有意義な研修会になりました。

総務課 吉澤 和幸



玉松サロン 毎月第3日曜日開催



入所者の皆さんに、より充実した時間を過ごしていただこうと、1年半ほど前から取り組み始めたのが『玉松サロン』です。

担当の職員が入所者の皆さんに喜んでもらえる催し物を計画します。『玉松サロン』への参加は自由で、決して無理強いはしません。催し物の後は、もう一つのお楽しみ♡美味しい「おやつ」をいただいております。おやつも、職員で相談し洋菓子、和菓子など様々です。

今月の『玉松サロン』は、《エステ》を開催しました。女性は、ハンドマッサージの後、マニキュアを塗りました。男性は、ホットタオルの後、髭剃りを行い乳液を使ってフェイスマッサージです。《エステ》という響きに、少し抵抗があったからでしょうか？男性の参加が少なく思いましたが、参加された方からは「こんなに気持ちよくしてもらえたのは久しぶりじゃったなあ〜」と喜びの声をいただきました。

女性は、ハンドマッサージをしながら職員と女子トークです。会場は大きな笑い声に包まれました。マニキュアを塗る時には遠慮される方もおられましたが、一人塗り始めると「私も！」「私も！」と殺到です。ピンクは控えめな方、真っ赤や真っ青の色にトライされる方もおられました。参加者の中には、「生まれて初めてお洒落をしたわ！」と感極まって涙される方もおられて、職員も感動しました。



フェイスマッサージ

「来月は何をしてくれるのかな〜？」月1回のサロンを楽しむに下さる方も増え、期待に応えねばと職員も奮闘していますが、準備等の苦労は、皆様の笑顔のお陰でかき消されてしまいます。

これからも、入所者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただけるよう職員一同頑張ります。

介護職員 平田 敬子



和みの郷かなや



養護老人ホーム



鬼は外、福は内



2月6日：少し遅めの節分行事です。入所者の全員参加と、各ユニットに「福男、福女」がおられたので、初の試みとして各ユニットを鬼が回る豆まきを行いました。職員



が、面白おかしく鬼に変装し各ユニットを回ると、足が痛い方、腕が痛い方も「鬼は外!! 福は内!!」と言いながら、新聞紙を丸めた玉を、ここぞとばかりに投げられました。「ユニット毎での行事もいい」と、お腹を抱え涙を流し大笑いされている姿を見ると、やって良かったなあと思いました。また思考を凝らした行事をして行けたらと思います。



介護職員 古屋 純子



「一緒にたくさん歌いました」



2月28日：今年も新見公立短期大学の音楽療法を学んでいる学生さんたちが、慰問に来てくれました。

学生さんたちは用意した大きな歌詞カードを前に素敵な笑顔と大きな声での歌や音楽に合わせ、身振り手振りを交えた体操など会場は大いに盛り上がりました。

きれいな音のハンドベルの演奏もあり、静かにゆっくり聞き入る時間もありました。



新見短大の学生さんたち、ありがとうございます。来年も楽しみに待っています。



介護支援専門員 橋本 央子



花見ドライブ感想



4月4日から9日にかけて花見ドライブに行きました。天候不良により桜が咲くのが遅れ、延期が続きようやく行く事ができました。

和みの郷を出発し、正田地区の河川敷の桜と井倉洞駐車場の桜を見たあと、金谷地区の公園に咲いてある桜の下で昼食を食べて帰りました。入所者の皆様も久々の外出という事もあり、とても喜ばれていた様子でした。桜も待った甲斐があつてか、天候もよく、満開に近い状態で見ることができました。普段は施設内で食べる食事、外で食べる事によって更に美味しく感じたのではないのでしょうか。



また、体調不良などでドライブに参加できなかった入所者の方も、後日、施設周辺を散歩して桜や芝桜を眺めながらおやつを食べました。

本年度最初の行事として、職員が協力し合い、入所者の皆様に満足していただけた花見になったのではないかと思います。平成が終わりを迎え、令和が始まりますが、入所者の皆様にますます楽しんでいただけるよう、心機一転頑張っていきたいと思います。

介護職員 野中 俊宏

今年も来たよ!

4月10日：毎年桜が咲く頃になると、市内にある矢崎部品（株）新見工場の「ROY」というグループが慰問に来てくれます。

若い従業員の皆さんで構成されていて、とても元気がよく恒例の踊りやビンゴゲームに加え、今年はりハビリ体操の実演も！たくさん景品も用意してくださり、入所者も大喜びです。

また、新見工場の従業員の皆様から”ボックスステッシュ”の寄贈を受けました。

今年も ROYの皆さんありがとうございました。

栄養士 金藤 海幸



寄贈

ユニットでの1コマ



和みの郷のユニットでは毎日大きなやかんに作った香ばしい「ほうじ茶」を飲んでいきます。

このほうじ茶、業務用の大きな袋で届くので、1回分ずつお茶パックに詰めて、5つのユニットに配ります。そのために欠かせない作業が写真の「お茶葉詰め」です。

不定期の開催ですが、ワイワイと話をしながら楽しんでやっています。

ひなまつり

3月6日 おやつのお雛あられを食べながら、ひな祭りを楽しみました。

職員がお雛様やぼんぼりになって踊ると「まあ、あれは〇〇さんじゃが」「あっ施設長じゃ」と会場の皆さんがにこにこしながら手拍子や拍手を贈って、笑顔と笑いに包まれた一時でした。



3時のおやつ

3月14日 ユニットで「ホットケーキ」を焼いて食べました。

おいしい匂いに包まれて、焼きあがるのを待つ間、たのしいおしゃべりの時間！

焼きあがったホットケーキにホイップクリームやチョコレートソースを思い思いにトッピングして食べる姿はととてもすてきな笑顔となりました。



「忘れてない？ サイフにスマホに火の確認」

3月26日 避難訓練を実施しました。

「夕食の時に火災になった」という設定での訓練です。大勢が食堂に集まっているので、二手に分かれての避難。

避難完了後は、災害救助用品と消火用散水栓を確認して無事に訓練を終了しました。



介護支援専門員 橋本 央子



和

み

の

郷

日

記

り

り